

E-19 コンピュータシミュレーションによる家庭機械の選択(芥1報)

三重大農 森 邦男

○ 名古屋女大家政 松山正秀

シミュレーション目的 ある家庭機械購入にあたり、選択者が多くの販売先を順にまわり、その品質、価格、デザイン等の条件の一番好みに合った品を一つだけ選択する。その条件の品の順序もランダムにならんでおり、同じ得点の品もあるかもしれない。また最後まで行っても期待するほどの得点を持った品は存在しないかもしれない。本報では、全部の品を見定めてから一番良いと思われる前の販売条件先にはもどかなく、また必ず最後までには一つ選択しなければならぬと仮定して計算を実施し、最善の購入ルールを選択する。

プログラム構造 各販売先の家庭機械の得点も表わす一様乱数をサブプログラムで発生させる一方選択者の種々のディシジョンルールをメインプログラムに読み込んでおく。この一つを最後の販売先まで比較し、途中ディシジョンルールより良い評価順位を持った品があったらそこで計算を打ち切り、その機械の得点、その回における最高得点を記憶させる。これを順次くりかえし、選択した機械の平均得点および最高評価の品を選択した回数等を記録し、同様に各ディシジョンルールのシミュレーションを行なう。

結果 選択した機械の平均得点、最高得点の品を選択した回数および最低の品を選択した回数等の L. P. に打ちだされた結果から、どのディシジョンルールが最適であるか求めた。